

堺探検クラブ

南蛮橋、龍神新地から魚市場、アサヒビールゆかりの地まで。堺旧港ものごとがたり

⑦ 二代目中村富十郎住宅址 二世中村富十郎(1786~1855)は初代市川甚之助、三世中村歌右衛門に入門。頭角を現して天保4年(1833)には大坂角之芝居で三世中村松江から二世中村富十郎を襲名しました。天保13年(1842)「役者投扇曲」では「若女形巻軸白極上吉」の位付で難波の太夫と呼ばれ、江戸の飾海老・七世市川團十郎と並び名女形でしたが、天保改革で豪華な生活をめめられ、摂河泉から追放されました(團十郎も江戸十里四方追放に)。その後、天領(御免地)の堺に移住。戎之町大道で小間物屋・八幡屋を営みますが、才を惜しんだ新地世話方・松原武次郎の説得で「娘道成寺」の白拍子などを新地北芝居(龍神橋通2丁)で演じて復帰。大坂はもとより京の三条紅粉平といった富十郎鼻負が押しかけ、大入りを記録しました。以後、堺奉行より「旅役者取締役」に任命され、堺を拠点に京、伊勢、名古屋、江戸などで活躍。嘉永2年(1849)には京都北側芝居で七世市川團十郎、三世上菊五郎と共演。安政元年(1854)には評判記の位付で「無類」となり、堺の太夫と呼ばれましたが、翌年に堺で没。大小路東向井領に葬られ、本成寺(寺地町東4丁)、正法寺(大阪市中央区)に詣聖があります。

⑧ 龍神駅跡(現・コンフォートホテル堺) 明治36年(1903)、大浜公園で第5回内閣勲業博覧会開催。堺水族館・大浜潮湯・大浜少女歌劇が出来て、大正元年(1912)に当地(現・コンフォートホテル堺)に龍神駅が開業しました。龍神新地に近く、股賑を極めて戦前は市最大の乗降客数に。特急は堺駅通過で龍神駅に停車するほどで、戦災後も龍神駅のみ旅客営業で堺駅は貨物駅でしたが昭和30年(1955)に両駅を統合。龍神駅を堺駅としましたが昭和60年(1985)高架化で現・堺駅へ移転しました。バスロータリーの「南蛮船」は堺の彫刻家・岡村哲伸氏の作品で、氏は堺市制110周年記念事業で龍女神像(北波止町)制作も手がけています。

⑨ 神明神社 堺のお伊勢さん。天保3年(1832)に佐々木長門なる人物が稲荷明神などを祀って旭社としましたが、天保12年(1841)に堺奉行・水野若狭守忠一が天照大御神と豊受大御神を勧請。宿院町・布屋源治郎から敷地を寄進されて神明社と改めました。境内に天保4年銘、天保12年銘の石灯籠や、龍神新地の遊郭の楼主が寄進した玉垣が残っています。蘇鉄山山岳会の活動拠点で、一等三角点が設置されている日本一低い山・蘇鉄山(標高6.84メートル。大浜公園内)に登れば「蘇鉄山登山認定証」(有料。1枚20円)を発行してくれます。



① 堺駅 近畿の駅100選。江戸時代は戎島附洲新田(大和川の堆積土砂)で明治21年(1888)に市最古の駅として開業。吾妻橋駅とも呼ばれました。構内に大正の広重こと吉田初三郎(1884~1955)が河盛安之介市長の懇囃で昭和10年(1935)に描いた「堺市鳥瞰図」(堺市博物館蔵)と江戸初期の「南蛮屏風」(同館蔵)の壁画があります。

② 堺駅観光案内所 堺駅ビル1F(9:00~18:00)、堺駅西口改札横(10:00~19:00)と2箇所あります。堺観光ボランティア協会のガイドさんが観光相談にお応えしてくれます(10:00~16:30 ※年末年始除く)。またレンタサイクル(1日300円・貸出時は運転免許証など必要)も行っています。

③ 川の駅・堺(観濠クルーズ Sakai 乗船場) 自由都市・堺の象徴・環濠の名残である内川・土居川で、観光船を運航するNPO法人観濠クルーズ Sakaiの乗船場です。バーテンダーや線香屋の若旦那、主婦など多彩なガイドさんによるクルージングが楽しめます。*運航期間:3月末~11月の土日 運航時間:約50分 定員:大人18名 料金:大人1000円・小人500円(小学生以下) 予約問合せ:072-229-8851(受付時間10:00~17:00)

④ 南蛮橋(南蛮人像) 堅川に架橋。南蛮人像が設置されています。中世・堺は日明、南蛮貿易で栄え、数多くのポルトガル商人や宣教師が来堺。多彩な文化交流から火縄銃、線香、三味線、芥子餅などが生まれ、堺の名産となりました。

⑤ 堅川 宝永元年(1704)に大和川付替で土砂が溜まり、堺の港湾機能に支障が出ました。浅草商人・吉川儀右衛門は、奈良~江戸間の材木中継港として堺港復興を訴えて、堺商人と協力して築港を開始(寛政2年・1790)。津波に遭難しながらも約20年で現在の堺旧港の原型を形作りました。堅川は船が入り出す川口ですが、その工事は「町中追々砂持手伝とて、のほり吹きしめ、花やかに仕立て、ばば、女、子供にいたるまで南北残らず出候。(中略)二万余人の人数、みなみな波止前にて太鼓・鐘・いろいろ鳴り物にてはやし、先代未聞の賑わひ、筆につくがたく」と「堺代々御奉行記」にあります。吉川儀右衛門(江戸=東=吾妻)の功績を讃え、内川に吾妻橋が架けられています。

⑥ 龍神橋 天保9年(1838)架橋。大和川付替で港が寂れたので天明6年(1786)、越後の龍沢山善法寺の僧(注1)が港復興祈禱を行うと日没後に海上に燈明が煌めきました。これぞ「龍神の靈験」と評判になり、築港事業で出来た新地を龍神と名付け、遊郭、芝居小屋、御茶屋などが並びました。「龍神よいとこよい酔心地 むかし隆達トントン拍子 今は小唄の音を聞きや可愛いとしお方の花より龍神よいとこよい郎」といった「龍神小唄」(作歌:食満南北作曲:杵屋和吉 振付:藤間門壽郎)なども残っています。(注1) 出羽庄内善宝寺(龍神尊)の僧が37日間の祈禱後、経文を石に刻んで海に埋めると土砂退散して港が繁栄を取り戻した...という説もあります。

⑬ 与謝野晶子像 与謝野晶子(1878~1942)生誕120年記念、堺東ライオンズクラブ結成25周年記念アクティビティとして設置。「ふるさとの潮の遠音のわが胸にひびくをおほゆ 初夏の雲」(歌集「舞姫」より)の歌が刻まれています。

⑩ 龍神堂 龍神祈願で港が復興したと言んだ新地の人々は、天保6年(1835)に善法寺を建立、龍神堂と絵馬堂を造営しました。しかし明治後に廃寺に。龍神堂だけが旭館(旭橋の項目を参照)内に残り、昭和5年(1930)国道26号線敷設で当地に移りました。郷土玩具を描いた堺の画家・川崎巨泉(1877-1942)の自筆写生画帳「人魚洞文庫」に「堺大浜通一丁目龍神堂奉納絵馬 昭和六年九月写」とクジラの絵馬が写生されています。

⑪ 堺魚市場 古来より堺は漁業が盛んでした。奈良・京都への貴重な海産物供給地で、堺魚商人の中には春日社供菜人(春日大社には天文7年・堺魚屋弥次郎寄進の石燈籠が現存)や御所の禁裏御用などもいきました。供菜人、禁裏御所に廃寺に。龍神堂だけが旭館(旭橋の項目を参照)内に残り、昭和5年(1930)国道26号線敷設で当地に移りました。郷土玩具を描いた堺の画家・川崎巨泉(1877-1942)の自筆写生画帳「人魚洞文庫」に「堺大浜通一丁目龍神堂奉納絵馬 昭和六年九月写」とクジラの絵馬が写生されています。

⑫ 旭橋の橋柱(アサヒビールゆかりの地) 天保5年(1835)に掘られた旭川に架橋。昭和30年(1955)に埋立てられ橋柱のみ現存です。嘉永(1848~1853)頃に描かれた「泉州堺湊新地繁栄之図」(堺市立中央図書館蔵)には、旭橋近く「朝日ノ家」が記されていますが、堺屈指の御茶屋でした。その後、明治21年(1888)に旭橋西詰に4000坪の大庭園を有する政財界の名士社交場「旭館」が開館。鳥井駒吉(1854~1909 堺の酒造家)も出入りして翌年、大阪麦酒会社(現・アサヒビール株式会社)を創業。この旭館がアサヒビールの由来という説があります。またビール発売当初の「波に朝日」ラベルは、「浪花百景」などを手がけた堺の浮世絵師・中井芳瀧(1841~1899)が描きました。旭館は昭和6年(1931)の国道26号開設時に閉館。堺市役所前の大蘇鉄は旭館から移転したものとわれています。

⑬ 堺事件発生地 慶応4年(1868)、大坂入りしたフランス領事を迎えるべくフランス海軍のコレット艦デュプレクスの水兵が堺に上陸したところ、警備中の土佐軍監府は「通達がない」と上陸を阻止。言葉が通じない混乱でフランス兵が藩旗を倒そうとしたため、土佐藩側が発砲。水兵11名を殺傷、溺死させた(堺事件)。フランス公使レオン・ロッシュは猛抗議して関係者20名の切腹、15万ドルの賠償金を要求し、国力差から明治政府は全要求を受諾。当初、関係者は29名いたので土佐稲荷神社(大阪市西区)で籤を引いて切腹者を選抜。妙国寺(材木町東4丁)で刑が執行されますが、あまりの切腹の凄惨さに軍艦長デューブティエ・ウールは11人目で中止要請、結果9人が助命されました。自刃した藩士は宝珠楼(宿院町東3丁)に葬られ、国指定史跡「土佐十一烈士土墓」となっています(同院には後にフランス兵の慰霊碑も建立)。森鷗外「堺事件」、大岡昇平「堺港攘夷始末」、司馬遼太郎「新装版 俄・浪華遊侠伝」など小説の題材にもなっています。

⑭ バンゲア 元々、工場だった建物を改造してカフェに。海が見えるテラスが人気で、堺旧港・龍女神像の彼方に沈む夕陽を眺めながら、美味しいお食事、お酒が楽しめます。NPO法人 SEIN の運営で堺市民のコミュニティ活動の最新情報なども。堺探検クラブのマップも入手できます! *営業時間:平日 15:00~23:00 土曜 12:00~23:00 日曜 12:00~22:00(月曜日定休) TEL:072-222-0024